

県内企業の夏のボーナスは一人当たり前年比+1.9%増

——埼玉県内企業 2012年夏のボーナス支給状況アンケート調査 ——

2012年夏のボーナス支給状況について、県内企業へのアンケート調査を実施したところ、一人当たりボーナス支給額は前年実績から+1.9%の増加となった。前年に続き増加となったが、増加率は低下している。景気の回復力が弱く、収益など経営面でも厳しい状況にあるためとみられる（7月中旬実施。対象企業 929社、回答企業 250社、回答率 26.9%）。

○2012年夏のボーナスの支給総額を支給対象人員で割った、一人当たり支給額は419千円となり、前年実績の411千円に比べ1.9%の増加となった（ボーナス支給実額を記入いただいた企業178社を集計）。

前年に続き増加となったが、増加率は前年の2.8%に比べ低下している。海外経済の減速などもあり、景気の回復力が弱く、収益など経営面でも厳しい状況にあるためとみられる。

○夏のボーナス一人当たり支給額（前年比）の推移をみると、2009年夏にリーマンショックによる輸出や生産の落ち込み、雇用環境の大幅な悪化などにより、前年比▲17.1%と大幅な減少となった。その後、企業収益の改善や雇用調整が進んだこともあり、ボーナス支給を回復する動きがみられ、2012年まで3年連続の増加となった。

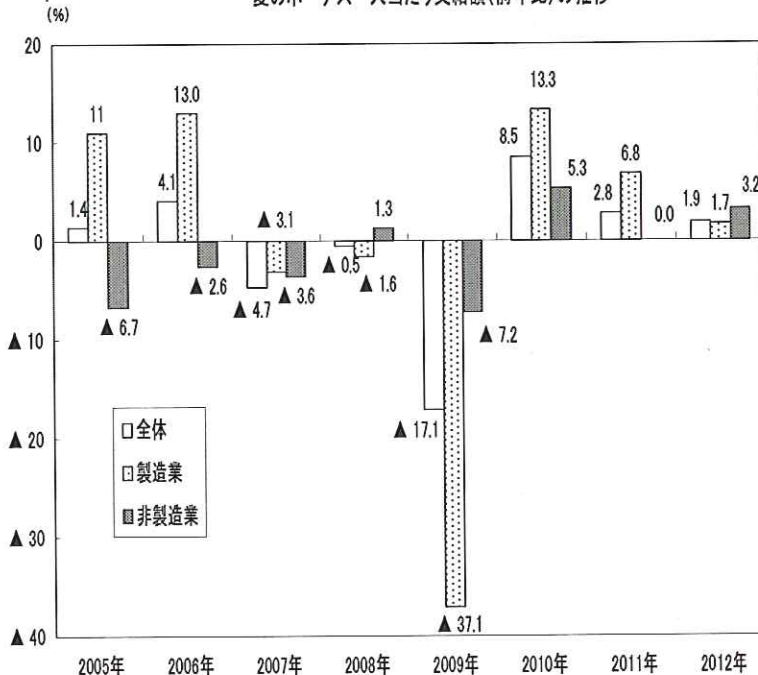
ただ、2011年以降、震災や円高、海外経済の減速など企業を取り巻く経営環境は厳しい状況も続き、景気の回復力も弱いことから増加率は徐々に低下してきている。

○アンケート回答企業の2012年夏のボーナス支給総額は101億37百万円で、当該企業の前年実績99億25百万円から2.1%の増加となった。一人当たり支給額同様、前年に続き増加となったが、増加率は低くなっている。

2012年夏のボーナス一人当たり支給額
(社、千円、%)

	企業数 (2012年)	一人当たり支給額		
		2012年	2011年	前年比
全産業	178	419	411	1.9
製造業	72	475	467	1.7
非製造業	106	388	376	3.2

夏のボーナス一人当たり支給額(前年比)の推移



2012年夏のボーナス支給について

2012年夏のボーナス支給状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した（対象企業929社、回答企業数250社、回答率26.9%）。

（1）ボーナス支給実績の有無

2012年夏のボーナスの支給実績をたずねたところ、「正社員・パートともに支給」と答えた企業は全体の51.7%で、2011年夏の支給実績49.8%を1.9ポイント上回った。また、「正社員のみ支給」とした企業は35.7%で、両方を合わせるとボーナスを支給するとした企業は87.4%となった。

一方、「支給しない」とする企業は12.6%となり、前年実績の14.3%から1.7ポイント減少した。景気の持ち直しを反映し、ボーナス支給状況については前年と比べ支給する企業が増えている。

業種別にみると、「正社員・パートともに支給」と答えた企業は製造業では65.3%、非製造業では42.7%である。前年実績と比較すると、製造業では0.7ポイントの増加、非製造業で2.4ポイントの増加となった。

また、「支給しない」は製造業で10.5%、非製造業で14.0%である。「支給しない」を昨年実績と比較すると製造業では2.0ポイントの減少、非製造業では1.4ポイントの減少となった。

リーマンショック後、「支給しない」とするところが多くなっていたが（2010年調査、17.1%）、徐々にその割合は小さくなっておりボーナスを取り巻く環境は若干ながら厳しさが和らいでいる。

2012年夏のボーナス支給実績の有無

	（%）		
	合 計	製造業	非製造業
正社員・パート ともに支給	51.7 (49.8)	65.3 (64.6)	42.7 (40.3)
正社員のみ支給	35.7 (35.9)	24.2 (22.9)	43.4 (44.3)
支給しない	12.6 (14.3)	10.5 (12.5)	14.0 (15.4)

※（ ）内は2011年実績

(2) 一人当たりボーナス支給額

2012年夏のボーナスの支給総額を支給対象人員で割った、一人当たり支給額は419千円となり、前年実績の411千円に比べ1.9%の増加となった（ボーナス支給実額を記入いただいた企業178社を集計）。

前年に続き増加となったが、増加率は前年の2.8%に比べ低下している。海外経済の減速などもあり、景気の回復力が弱く、収益など経営面でも厳しい状況にあるためとみられる。なお、前年との比較で一人当たり支給額（支給総額を支給対象人員で割った金額）の増減を社数ベースで見ると、増加した企業は83社、変わらない企業が38社、減少した企業は57社であった。

業種別にみると、製造業では475千円と、前年の467千円から1.7%の増加となった。非製造業では388千円で前年の376千円から3.2%の増加と非製造業での伸びが高い結果となった。

2012年夏のボーナス一人当たり支給額
(社、千円、%)

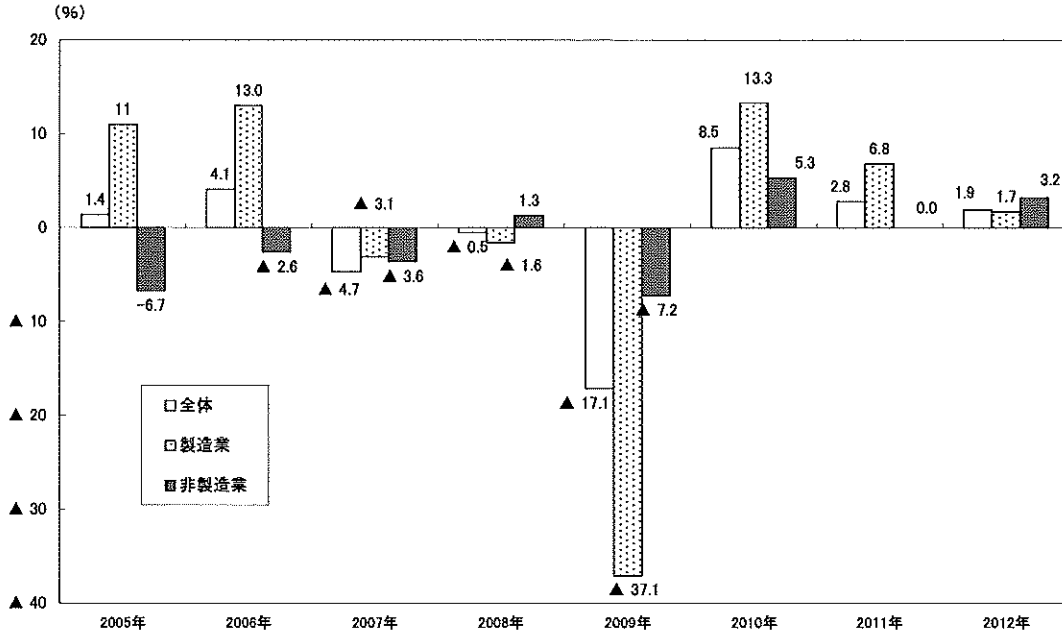
	企業数 (2012年)	一人当たり支給額		
		2012年	2011年	前年比
全産業	178	419	411	1.9
製造業	72	475	467	1.7
非製造業	106	388	376	3.2

(3) 夏のボーナス一人当たり支給額（前年比）の推移

夏のボーナス一人当たり支給額（前年比）の推移をみると、2009年夏にリーマンショックを受けた、輸出や生産の落ち込み、雇用環境の大幅な悪化などにより、前年比▲17.1%と大幅な減少となった。その後、企業収益の改善や雇用調整が進んだこともあり、ボーナス支給を回復する動きがみられ、2012年まで3年連続の増加となった。ただ、2011年以降、震災や円高、海外経済の減速など企業を取り巻く経営環境は厳しい状況も続き、景気の回復力も弱いことから増加率は徐々に低下してきている。

夏のボーナス一人当たり支給額（前年比）の推移

単位：%



(4) 2012年夏のボーナス支給総額と対象人員

アンケート回答企業の2012年夏のボーナス支給総額は101億37百万円で、当該企業の前年実績99億25百万円から2.1%の増加となった。一人当たり支給額同様、前年に続き増加となったが、増加率は低くなっている。

業種別の支給総額の前年比をみると、製造業が▲3.6%、非製造業が+6.5%となった。支給対象人員は全体では+0.1%、製造業で前年比▲5.3%、非製造業で同+3.3%と製造業での減少が目立っている。

2012年夏のボーナス支給総額と対象人員

(百万円、人、%)

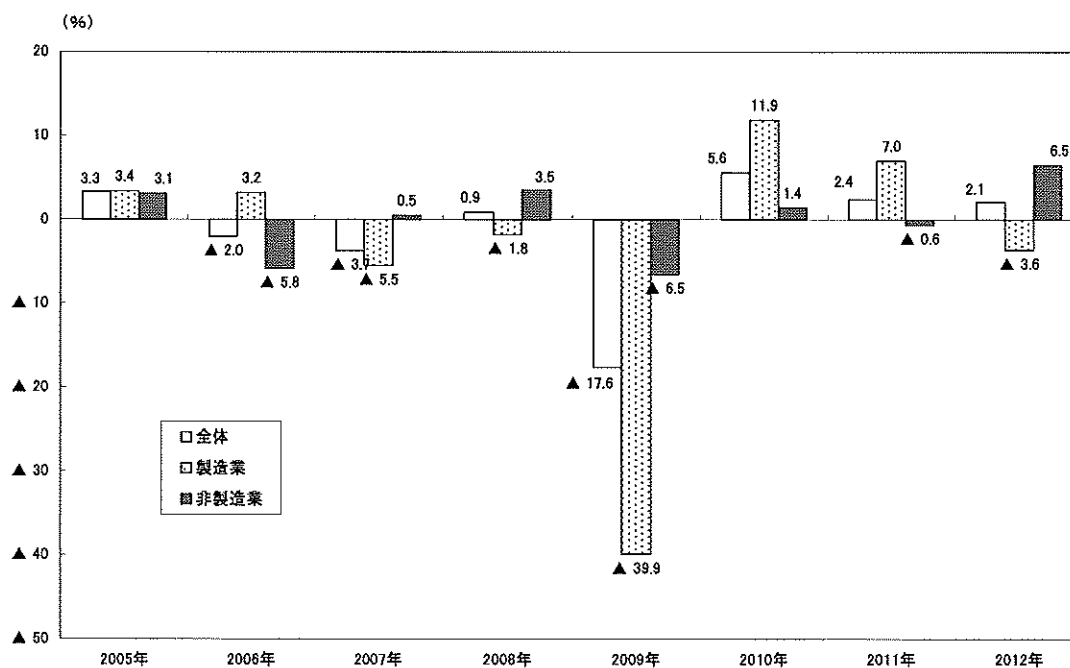
	支給総額			支給対象人員		
	2012年	2011年	前年比	2012年	2011年	前年比
全産業	10,137	9,925	2.1	24,175	24,162	0.1
製造業	4,131	4,287	▲3.6	8,699	9,183	▲5.3
非製造業	6,006	5,638	6.5	15,476	14,979	3.3

(5) 夏のボーナス支給総額（前年比）の推移

夏のボーナス支給総額（前年比）の推移をみると、2009年夏に▲17.6%と大きな落ち込みとなった後、今回調査で3期連続の増加となった。ただ、増加率は年々低下している。雇用・所得の先行きに対する不安感も依然強いこともあり、この夏のボーナスの増加が消費を持ち上げる力は弱いものとみられる。

夏のボーナス支給総額（前年比）の推移

単位：%



別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業の 占める比率 (%)
全 産 業	929	250	100.0	90.4
製 造 業	296	97	38.8	94.8
食 料 品	21	6	2.4	100.0
織 維	12	4	1.6	100.0
化 学	19	12	4.8	83.3
窯業・土石	11	2	0.8	100.0
鉄 鋼	8	1	0.4	100.0
非鉄金属	11	5	2.0	100.0
金属製品	34	13	5.2	100.0
一般機械	31	5	2.0	100.0
電気機械	31	14	5.6	92.9
輸送機械	28	11	4.4	81.8
精密機械	19	3	1.2	100.0
木材・木製品	10	3	1.2	100.0
パルプ・紙	12	3	1.2	100.0
印 刷	18	4	1.6	100.0
その他製造	31	11	4.4	100.0
非 製 造 業	633	153	61.2	87.6
卸 売	78	22	8.8	100.0
小 売	137	28	11.2	67.9
建 設	93	24	9.6	100.0
不 動 産	42	14	5.6	92.9
運輸・倉庫	31	14	5.6	100.0
電気・ガス	10	2	0.8	50.0
情報通信	11	5	2.0	100.0
飲 食 店	57	10	4.0	80.0
サ ー ビ ス	174	34	13.6	82.4